



渡邊 正峰（わたなべ まさたか）

東京大学大学院工学系研究科 准教授

略歴

専門は神経科学、意識の科学。1970年千葉県生まれ。1993年東京大学工学部卒業、98年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。98年から99年にかけてCREST合原プロジェクト博士研究員、1999年から2001年にかけて東京大学大学院工学系研究科部助手、2001年から同助教授、カリフォルニア工科大学在外研究員、マックスプランク研究所客員研究員などの兼職を経て現職。

著書

『脳の意識 機械の意識』（中央公論新社） 同中国語版（北京大学出版） “From Biological to Artificial Consciousness”（Springer） 他